



カ、ハエ：発生源をなくしましょう

市ではいま、カ、ハエ、ブヨなどの発生源・生息源対策として、旧市内地区の下水管、側溝、下排水こう、路地うらに薬剤を散布し、越冬害虫駆除大作戦を展開中です。

市ではいま、カ、ハエ、ブヨなどの発生源・生息源対策として、旧市内地区の下水管、側溝、下排水こう、路地うらに薬剤を散布し、越冬害虫駆除大作戦を展開中です。

市ではいま、カ、ハエ、ブヨなどの発生源・生息源対策として、旧市内地区の下水管、側溝、下排水こう、路地うらに薬剤を散布し、越冬害虫駆除大作戦を展開中です。

- 植え込みやいけがきの刈り込みを行ない風通しをよくする。
- 家のうらのじめじめしたところの排水をよくする。
- 下水こうの清掃を常時行なう。

つゆあけとともに、夏休みや祇園祭りが始まり山口盆地の「夏開き」です。まず、生活環境をきれいにし、健康で快適な夏としましょう。

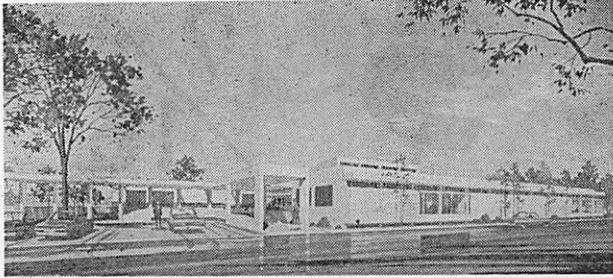
おもな内容

- 「老人憩いの家」を建設 2ページ
- 新装なった県立図書館 〃
- 生鮮食料品の試買調査 3ページ
- 同和問題を考える 4～5
- ひと、まち、くらし 6
- カメラのたより 7
- 東西南北 6～7
- おしらせ 8

楽しいつどいの場

「老人憩いの家」を建設

十二月完成の予定



温泉を利用した浴場を中心に
お年よりの憩いの場「老人憩いの家」が、児童文化センター（湯田温泉五丁目）の西側広場に建設されます。

「老人憩いの家」は、お年よりの教養の向上とレクリエーションを通じて心身の健康の増進をはかることを目的としたもので、県内に八カ所建設されてお

り、山口市は九番目の施設となります。

「老人憩いの家」は、鉄筋コンクリート平家建。敷地面積は二千百平方メートル、建物は四百四十九平方メートル。

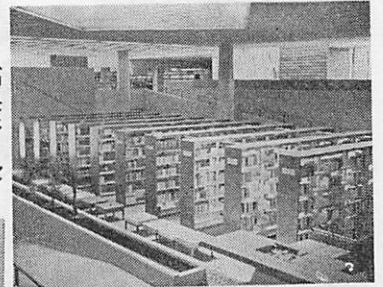
施設の内容としては、大広間（ステージ付き、四十二畳）、ロビー、和室（二）、小会議室、事務室、機能訓練室兼休養室、浴場（二）、控え室などで、冷暖房完備です。

七月に着工し、完成は十二月の予定。総事業費は四千六十万円。
具体的な運営については、目下検討中です。
写真は完成予想図

七月十六日から三十日まで「夏の交通安全健民運動」が全国的に実施されます。

重点目標は――
・過労運転の防止
・子どもと老人の事故防止

暑い夏は、過労やイライラから交通事故のふえる時期です。運転手のかたは十分心がけてください。



（中央ホール）

新装なった県立図書館

23日に開館

（全 景）



総合情報資料センター

県立山口図書館が、新しい時代の要望に添えて図書館、文書館、視聴覚センターを合わせた総合情報資料センターとして元山大理学部跡に改築され、七月二十三日から開館することになりました。

新図書館はチョコレート色のタイルにつつまれた鉄筋コンクリート2階（一部3階）・書庫は地上七層、地下二層、延べ面積九千八百平方メートルで、一つの建物に図書館・文書館・視聴覚センターが集まっています。

一の坂川と亀山公園を結んで通り抜け通路となっており気軽に出入りができ、階段もゆるやかなスロープで車いすでも楽に出入りできます。

三つの施設の受け付けは一つで、総合情報資料センターとしてのそれぞれの資料の目録をあつめて有機的に利用できるしくみになっていきます。また青少年のための参考室、点字図書館、読書グループ活動の相談室等のほか、視聴覚センターには三百人が座れるレクチャールームがあります。

音楽資料室では読書のあい間にクラシックやポピュラーが自由に聴かれます。

開館は九時から夜は七時（視聴覚センターは五時）開館記念行事としてレクチャールームでは、三十日までレコードコンサートと映写会が行なわれます。

三十二人（三十四人）、軽傷三六二人（四一人）。カッコ内は昨年同期。件数以外はいずれも減少しています。

なお死亡事故は四月十八日に発生以来、ゼロを続けていましたが、七月八日死亡事故が発生、八十日間でストップ。死亡事故ゼロ続行に力を合わせましょう。

子どもと老人を守ろう

夏の交通安全健民運動・7月16日～30日

子どもの交通事故は、気のゆるみがちな下校後や学校の休みのときです。とび出しや、自転車

転車通行などの安全を。八十日間でストップ 死亡事故ゼロ

車のあぶない乗り方などしないようにしましょう。

山口市の六月末現在の交通事故の状況は、件数三〇八件（三〇一件）、死亡八人（九人）、重傷

戸籍の手数料が変わりました

七月一日から戸籍手数料が全国一斉に次のように変わりました。

・戸籍謄抄本（除籍を含む）一枚につき「五十円」を「七十円」に

・戸籍簿、除籍簿の閲覧一件につき「五十円」を「七十円」に

・その他戸籍に関する証明一件につき「五十円」を「七十円」に

・婚姻、養子縁組等その他の届け出の証明も「五十円」を「七十円」に、それぞれ改正されました。

次のように、巡回「天文の夕べ」を開きます。

▽主催 山口市児童文化センター。

▽対象 小・中学生一般

▽指導者 日本天文学会 会員 横田博先生

▽期日・場所 七月十九日～二島小校庭、同二十一日～名田島小校庭、同二十三日～鑄鏡司小校庭、同二十四日～陶小校庭。

▽時間 午後八時～十時

雨天のときは講堂で天文のお話と映画。

▽プログラム 星座のスライド、神話、天体観

察。

”夏の星座を観察しよう”

山口署に家出人相談所を開設・7月15日～8月15日

月ぎめで買っている……66.5%

「牛乳」のアンケート実施

市消費生活モニターや生活学校生など297人（回収260人）を対象に行なった「牛乳」についてのアンケート（今年4月実施）の一部を抜粋します。

■あなたの家庭では牛乳を買っていますか。

- ・月ぎめで買っている 66.5%
- ・ときどき好みで買っている 29.6%
- ・買っていない 0.8%

■買っている容器はどれですか。

- ・180ccの小びん 22.9%
- ・200ccの〃 39.3%
- ・180ccのテトラパック 24.7%

■現在飲んでいる量をふやそうと思っていますか。

- ・ふやそうと思っている 31.4%
- ・減らそうと思っている 2.7%
- ・現状のまま 63.6%

■現在の牛乳類の価格を他の食料品と比較してどう思いますか。

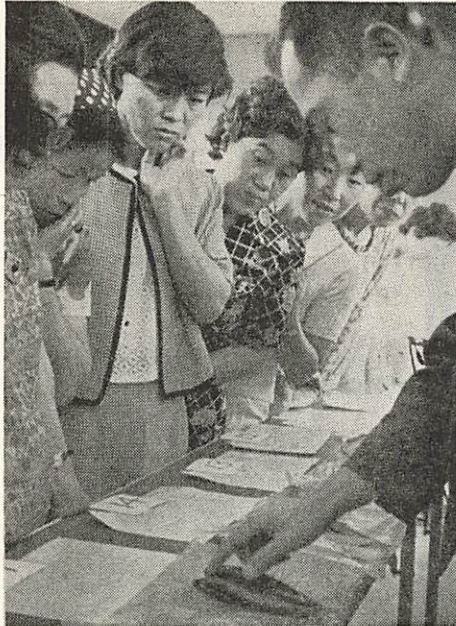
- ・高いと思う 30.2%
- ・普通だと思う 50.0%
- ・安いと思う 1.1%

■牛乳を冷蔵庫に入れて保管している期間はどれくらいですか。

- ・1日以内 40.4%
- ・2日〃 53.9%
- ・2日以上 5.3%



アラ！これ目方が足りないわ



台所をあずかる主婦にとって頭のいたいことばかりのこのころ。

生鮮食料品の試買調査

市では、このほど生鮮食料品の試買調査を行ないました。PCBや水銀汚染魚の問題、生鮮食料品の値上がり、世界的な食糧不足——と「食べる」という、いちばんたいせつなことに、不安がいつぱいのときだけに、生鮮食料品に対する関心もいちだんと高まっています。調査ではとくに牛肉の値上がり、量目不足が目立ちました。

調査日時	六月二十二日
参加者	市消費生活モニター、生活学校生ほか
調査品目	牛肉、小あじ、トマト
調査内容	価格、品質、鮮度
審査基準	品質、鮮度等を上
調査地域	・中・下の三段階 旧市内と十三出張所地区のスーパー
調査商	店 マーケットと小売店

牛肉

価格では並肉の平均価格は百七十三円九十銭。昨年

の同じ時期の試買調査では百十八円だったのに比べて大幅な値上がり。品質・鮮度はまずまず。

量目は不足が目立ち、二十三日のうち、脂身を含めた総量で百多に満たないものが三件、脂身を差し引いた実量では十四件が不足し、最低は九十多。とくにスーパーや出張所地区での量目不足が目立ちます。高い上に量目不足では困ります。

あじ

PCBや、水銀汚染問題で魚市場の休業などもあって

予定しただけの購入ができなかった。百多当たりの価格は平均三十八円九十銭。（昨年の試買調査では四十七円四十銭）汚染問題の影響でしょうか、昨年より安くなっています。品質・鮮度は「良好」。量目は十五件のうち正量が八件、超過五件、不足二件。

トマト

百多当たりの平均価格は十二円五十銭。最高二十

円、最低七円。全体に過熟したものが多く、とくにパック包装をしたものの成績が悪い。量目はまず良好というところでした。

よくない衛生状況

今回の調査の対象とした二十三日のハカリの状況をみると、県の検査済証がはってないものが精肉店一店、鮮魚店四店、野菜店一店ありました。とくに鮮魚店のはかりは、針がゼロのところに付いていないのが三七ばかりでした。

衛生状況では鮮魚店が悪い。全体に取扱い者の衛生状況は悪いというのが一致した見方です。スーパーの状況では、衛生状況とは逆に鮮魚店がいい。スーパーと小売店では小売店の方がいいようです。

「一日・一泊里親」になってください

ことしも、次の日程で「一日一泊里親」を実施します。里親になっていただけるかたは、各出張所か、市社会福祉協議会（市社会課内）へお申し出ください。

日時

▽一日里親 八月十九日（日）
一泊〃 八月十八日（土）
〃十九日（日）（いずれも九時～十七時）

対象の児童

山口育児院、吉敷愛児園の子どもたち

申し込み 七月二十五日

人事異動（七月一日付）

（部長級）

▽広域市町村圏推進事務局局長 辰岡上慶（秘書課長）

（課長級）

▽総務部秘書課長梅田忠良（市議会事務局庶務課長）

▽市議会事務局次長兼庶務課長小田文雄（同議事課長）

▽同議事課長杉本利雄（同議事課長補佐）

（課長補佐級）

▽兼経済部林務水産課管理係長事務取扱有吉義彦（同課長補佐）

▽市議会事務局課長補佐佐松村昇（同議事係長一課長補佐同格）

（係長級）

▽市議会事務局議事課議事係長岡宏光（林務水産課管理係長）



かげりのない、こどもたちの
ひとみが、あすをひらく……

同和問題を考える

同和対策推進強調

旬間(7月10日~19日)にちなんで



同和対策推進強調旬間は同和問題の早期解決が、国および地方公共団体の責務であり、国民的課題であるという考えかたにたつて、「同和対策特別措置法」が制定された七月十日を起点として十九日まで、全県的に各種の啓蒙行事をとおして、同和問題の認識と理解を深めるための旬間で、県および県教育委員会が主催し、山口市、市教育委員会もその協賛の一翼を担っています。

市民の皆さんも、このことをご理解のうえ進んで印刷物等に目を通し、催しものにも参加され、この問題解消のための努力の輪をひろげてくださるようお願いいたします。

子にはさせまい

親の願いが

「ねた子を起すな」という言葉は、むかしから使われています。また「五十才以上の人が死ねば差別はなくなる」とも言われていますが、こうした言葉の裏には同和問題についての考えかたの中に、現実には生きていく差別をみつめたものでなく、通りいっぺんの観念的なものがひそんでいっているのです。

たとえば「五十才以上の人が死ねば差別はなくなる」というのは、差別は古くからの言い伝えであり、それを信じている老人たちが死ねば、そんなまらちがった考えかたはすつかりなくなってしまうというものです。

「ねた子を起すな」の裏に

また、「ねた子を起すな」という考えかたが非常に根強いのは、この言葉の裏にもっと大きな親の願いがかくされていまして、それは「差別の苦しみを思い起させるな。子どもたちには二度と自分がうけた差別の苦しみをさせたくない」という差別にたいするはげしいいきどおりがあるからなのです。

同和教育のなかで「差別の現実から深く学ぼう」ということが叫ばれるのは、日本の親のなかで最もきびしい条件のなかにおかれている人々の要求から深く学んで、教育や行政の本当のありかたを考えようということなのです。

ことに「ねた子を起すな」という言葉は、同和問題を国民的な課題にする場合大きな障害になっていきます。「ねた子」というのは「知らない子」というこ

悪質な同和差別

(市内小学校六年男子)

今の日本は、文化にしろ、経済にしろ大きな発達を遂げました。だからもう差別に助けをもらわなくてもやっていけるのではないかと思えます。そうだとすれば、けつぎよく差別をなくせばいいだけなのです。なくすには知識がいります。それを「地の星座」でたくわえました。この小説は人間が絶対もつていなければならないほんとうの心を書き表わしたすばらしいものだと思えます。

僕がわかった作者の理想はふだん悪いことを使ったりきたない服を着たりしていても、ほんとうの心というか、いざというとき、親や友人やまた他人が苦しんでいる時、その人を愛して心から助けてあげようとする、人間に対する全くじゅんすいでやさしく光りかがやくような気持ちを日本ちゅうの人が自分の手に抱いて生きてくださいということだと思えます。

それに、同和差別の原因が全くなく、きわめて悪質で意地の悪い目的をもっていきます。だから僕は差別する人よりも、差別される人の方がほんとうの正直者で心の美しい人だと思っています。

「偏見」を二度と子どもに伝えまい

草場早止・主婦

宮野下

ある町議さんのはなし

この前、A町のある町会議員からこんな話を聞きました。

その話というのは、実は姪(めい)が大坂に働きにいらっていてその土地の青年と知りあって結婚したわけです。二人で一生懸命辛抱して土地を求め、家をこしらえ、女の子もできました。

その子が来春は小学校にあがるという時です。このころから姪の母親がその娘のところへ行くわけなんです、何かのついでにひよっと、このことを出してしまったのです。それまで結婚はしたけれど部落の出だということをかかして来た。かくすというより言いづらいままに切りだせなかったのです。姪(めい)の実家もちゃんとした大きい家です、来ただけではわかりません。だから知らないままです。いっしょになったわけです。

ところがどういふことを言われたのか知りませんが、母親の言葉の端で姪が部落の出だということがわかり、大問題になったのです。すぐ別れると男が言うので、町議をやっておられるご本人があわてて飛んでいって、相手の男を説得し、いままら別れるなんてと話しあったと言っています。

頭をさげ、部落ということから筋道をたてて話したが、「それはわかってる。しかしいやなんだ。別れる」ということで来春学校にあがるという女の子がありながら、二人でしんぼうしてとこのえた土地・家をつくりおいて、着たままで出てい

ているのです。

そのことがばれてしまつてから離婚まで一週間ぐらいいしかからなかったというのです。

こんなひどい人権無視とか、その男にも問題がありましようが、そのことがわかつたという事で、子どもも女房も、家も屋敷も全部捨てて、自分だけが飛び出してゆくほどその男をかりたてたものは何かという、それは私たちをとりまいてる社会が、現実どんなにひどい差別というものを残しているかという「ひとつのあかし」ではないかと思うんです。

家も土地も捨てさせる社会

丸岡忠雄氏の講演から

五本目の指をかえせ

これだけは絶対に訴えるんだ。これだけは黙ってはおれないんだ。という事で何年も何年も胸の中で暖め続けてきた作品。しかも全くの作りごとでなしに、本当に彼女・真原さんが体験したそのままを投げかけた作品なんです。

私をはじめて恋を知ったのは二十一の秋

私はかきりなく彼をしいた彼はやさしく私をいたわっていたようだった

冬になると彼の部屋のコタツに火を入れ

て

私達は話し合った私が彼のオヨメさんになる日

その夜は 雪がシンシンしずんでいた……

「春」になったらネ指切りしましゅう

私の指がかわいいと言つてからめた指を

二人は永い間大切にしていたその彼が 私を四本指 だと

言いはじめたのはいつからだったか

彼のおかあさんにあった日から二人の上に春は来なくなつ

その指をかえせ

その指をかえせと

うたいながら

傷口はいえないだろう

傷口はいえないだろう

傷つけたものへのいかりとなつて

その口はひらくだろう

なお大きく 深く

いたみながら うづきながら

その後書かれた「愛について」の文章で、「いつか丸岡さんの作品に『自分にとって、部落を歌わない詩は詩ではない』という言葉がありました。

私をはじめ彼女を含め、あるいは部落の人すべてを含めて、いちばんの願ひというものは、こういう思いを自分の子どもたち、また自分のあとに来る者たちには決してさせたくない、させてはならぬということなのです。

絶対にそういうことに触れてくれるなど恐れている父兄、またこういうことを積極的に取りあげてやってくれたいという父兄、まるで両極端のように見えますけれど、思いはこんなんだと思います。

決して自分たちが味わつた思いだけはさせたくないという一生懸命な思いが、ひたむきに隠すという形になり、あるいは、このことをどうぞ力を入れてやってくれたいという姿勢になるんだと私は思います。

その時、私は部落のものだからといって人間なんだ。愛をうたつて、夜をうたつて、子供や花をうたつて何が悪い。そう思ったのですが、私たちにあって、それらすべての生活が部落民であるという事にかかわりがある以上、丸岡さんの言葉はやはり正しいのです。

詩を聞いの手段にしようとは思いません。でも、つきあけてくるものを詩にしないで何を私が歌えるというのでしょうか。やはり私は部落を歌わないでは前進できない。私にはケイカン旗を押し立てて町を進行する勇氣はない。でも未来の光を信じて歌い続けるのだ」と書いていま

以上は丸岡忠雄さんの潟上中学校での講話の一部を抜粋したのですが、私たちは深い感銘を受けるだけでなく、同和観を深め、それに自信と勇氣を持って、同和教育に積極的に取り組める姿勢を作る必要があります。そして社会のしくみの中のひずみを鋭く見ぬき、不合理なまちがった考えをなくしてゆく教育をおし進めなければなりません。

私たちすべてが同じ日本民族であり、同じ山口市民であるという連帯意識に立ち、お互いが相手に身がまえることなく、堂々と胸を張って住める社会をつくるために努力しましょう。



我が子に 対しては 割り切れ なきを痛

感じて、話したことがないのです。ために、大学生の娘に部落について聞いてみましたところ、島崎藤村の小説の破戒にある話ぐらひのことです。現代に通じるものとはとても思っています。本人次第では結婚にも関係ないと思つています。時が古い考えを押し流して行くのを感じます。

山口市に住みついて十年になりますが、いったいどの地区がそうなのか知ろうと思いませんし、また土地の様子も次々とかわり、新しい家もどんどん建ち、古いことは土地の古老が知るだけとなるのではないのでしょうか。

同和問題について考える時新時代に即し、みな平等で日頃差別など何一つしていないように思えるのですが、ことに結婚問題となるとどうでしょうか。中年以上の人の頭には古い考えがもたげられてはいないでしょうか。これが差別の主なものと思うのです。

それは、子どもの頃から血統や部落などについて、代々伝えられて来た話を、父母から聞かされて育つたからだと思います。

でもこのような考えは時代とともに大きく変わりつつあるのではないのでしょうか。現にそういう教育を受けた私が

ひとまち 暮らし

生きる



相本豊・由美さん
〈円政寺6〜5〉

「こころをひらいたもの」

長い病気との付き合い
もう病気はイヤなの
だつて、あなたとは十八年間
付き合ってきたのですもの
だつてあなたがいると
恋人も何もできないもの
ひとりで出かけることも
学校へ行くことも
だから私から離れて
どこか遠くへ行つてね

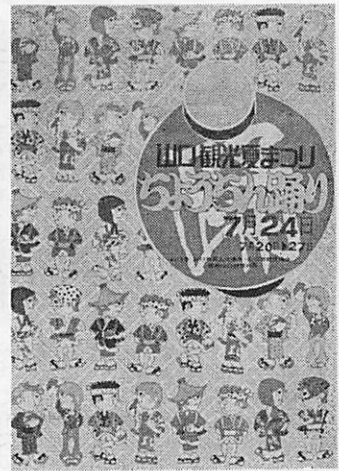
……由美さんの詩の一節
由美さんは脳性小児マヒにか
かり、十八年間の長い病気との
付き合い。それは、またおあ
さんの豊さんとの、喜びも悲し
みも分かちあつた長い長い十八
年間。

がいます。「家庭的に恵まれ感謝
しています。施設にも行かない
でやさしい父や母のそばにい
られるし、あつちこつち好きなど
ころに連れて行つてもらえ、し
あわせだなあ」と思うのです」
ひとりで自由に遊びたいと思
うと「どうして私を生んだの」
と豊さんをせめたこともあつた
由美さんと豊さんの「こころ
をひらいたもの」——それはB

BBSと婦人会との出会い

BSのお兄さん、お姉さんと、
婦人会との「出会い」。
数年前からのBBSのみなさ
んとの間で由美さんは「精神
的にたいへん成長し、人前で大
声で歌がうたえ、物ごとに感謝
し、私の誕生日には、忘れずに
プレゼントをしてくれるやさし
い娘になりました」（豊さんの
はなし）
豊さん自身は「『この子
に手がかかるから』と婦人会や
町内の世話を拒んできました
が、昨年、婦人会の支部長を引
き受けて、社会に対する目が開
け、仲間や友だちがふえ、よろ
こびがいっぱい。この子といっ
しょに死のうと思つた自分がは
ずかしい。」
由美さんへうば車に乗せ買物
や映画見物。「年ごろ、同棲
時代、男はつらいよ」——由美
さんが「最近観た映画」を話し
てくれ、豊さんの「いいけんか
友だち」に、ほがらかに笑つて
くれた。

夏祭りがやってくる



盆地の町の夏開き……「祇園祭り・観光夏祭り」が近くなりました。祇園祭りは20日から27日まで。中日の24日は「ちようちん踊り」で賑わいます。なお、米屋町〜道場門前のアーケード街は20日から27日までの19〜22時、道場門前（阿部橋）〜米屋町〜中市〜大市〜札の辻の間、駅通り（裁判所）〜早間田（千歳橋まで）間は20・24・27日の3日間18時〜22時まで車両が通行止めとなります。

臨時バス（7月24日）——〈朝倉線〉朝倉発20.00、センタービル前発21.15〈平川線〉平野発19.21（車庫止めを市役所まで延長）、センタービル前発21.20〈天花線〉錦鶏の滝発19.30、21.44、市役所前発19.06、21.20〈吉敷線〉中尾発（西光寺経由）19.30、センタービル前発（同）21.25〈宮野・仁保線〉新橋発19.59、市役所前発21.25（井開田）

■「遊泳さしつかえない」海水浴のシーズンを迎え、山口県では各海水浴場の水質検査を行ないましたが、透視度、COD、大腸菌群とも海水浴に差しつかえない数値でした。

東西南北

ごども

あぶない「爆竹」遊び



花火は、子どもにとって欠

かせない夏の楽しい遊びですが、これでも取り扱いを誤ると大ケガをします。

いま、子どもたちの間に流行しているのが「あぶない」「爆竹遊び」。連発式、ロケット式、煙幕式（写真）などあって、パン、パンと破裂するスリルを求めて、夜遅くまでグループで遊ぶ子どもたちがいます。

「ビニールパイプにつめて遊んでいる危ないケースを補導したこともある。マッチを持ち歩いているのも問題。周囲のおとながよく注意してほしい」と、市補導センターでは呼びかけています。

「嘉川の歴史をたずねる会」



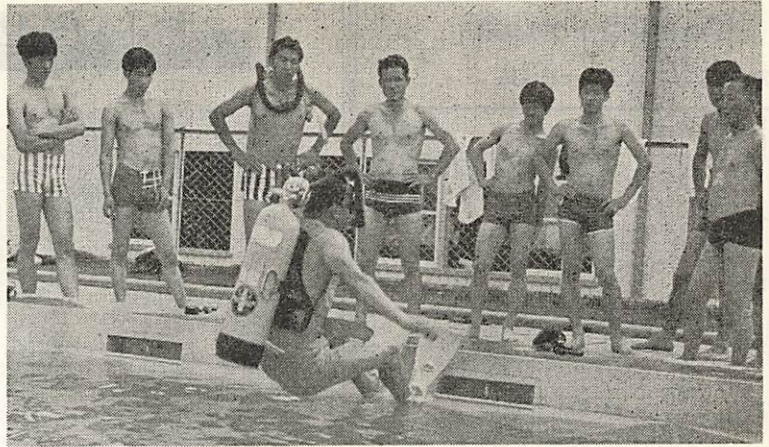
新幹線やバイパス
建設などで、地区の姿が急速に変わっていく。いまのうちに、郷土の歩みを伝え、文化財を保存しておかねば——こうしたねがいで、昨年九月に発足した「嘉川の歴史をたずねる会」（会長浅川茂さん、会員百五十五人）
会員は若い人からお年よりまで、あらゆる層の人が参加しており、年四回の例会（研究発表、研修、懇談会など）のほか、歴史散歩、研修会（古文書を読む会、郷土史研究のしかた）、資料の発行など盛りたくさん。将来は郷土史の発行を計画しています。





▲老人ホームに新鮮なさかなをプレゼント

「きれいな日本海のさかなをぞうど」と山口磯釣りクラブが、老人ホーム「福寿園」を訪れ、自分たちが釣り上げたイサキ五十四匹をプレゼント。老人たちは大喜びで生きのよいサシミに舌つづみを打ちました。



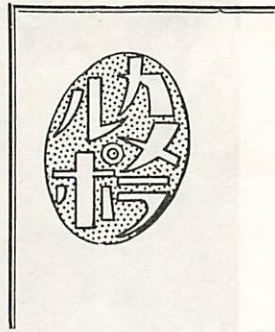
▲消防署員の救助訓練

水の事故に備えて、市消防署では、アクアラングを使つての捜索や訓練、おぼれた人の救助訓練をして万々に備えています。(県消防学校プールで)



▲人気上ター貫野の菊

仁保一貫野地区では、見事に花をつけた夏菊の出荷がさかん。高冷地の気候に恵まれた菊は、とくに品質が良いことから市場人気も上々で、沖縄 香港からの引き合いも多い。

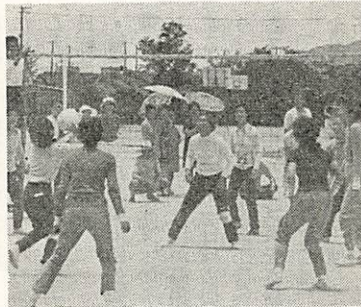


▲「付き添いさん」もお勉強

児童文化センターの小学生の「絵画教室」に付き添いで来られるおかあさんも勉強してもらおうと、石こう像のデッサン。久しぶりに大きい画用紙に描くおかあさんたちは真剣そのもの。

▲カアチャンガンバッター

6月24日大蔵地区婦人バレーボール大会が開かれました。強い日ざしの中で黄色い歓声を上げての大熱戦。オヤジさんも迷コーチ？で汗ダクダク。



東 西 南 北

まちがどて

パット明るい

「緑のバス停」

中国電力前のバス停地盤の一角がパットと目につく明るい緑色で塗られました。

これは「カラフルで感じの良いバス停に」と試験的に塗られたものです。塗料には特殊な砂が混合



バスから降りると、目の前に緑のジュエータンがあった…不快指数も下る思いがするとか。(ある乗客)

市民の憩いの場として親しまれている亀山公園…今頃は夕方ともなると涼を求めて来られる人が多いですが…この中のごく一部の人(若い高校生風)が夜中に来てからのいたずらにはほとほと困って

と。今、亀山公園には六匹のねこがいます。いずれも捨てねこでニャーニャー鳴くのは困りますよ。なかなか手にかからないですからね。この間も観光客のかたから「折角、



もう、わやです



豊田官一さん (亀山公園管理人)

います。腰掛を移動させたり立札は引き抜いて山に捨てたり木の枝を折ったり…もうわやです。親ごさんにいいたいです。夜遊びしている子はおむねろくなことはしません

よい公園なのにうるさい」との小言を受けました。飼い主も公德心を重んじて絶対に公園に捨てないように願いますよ。そして気持のよいみどりの多い公園を愛して欲しいですね。

無料レントゲン検診

対象者 6才以上の一般住民

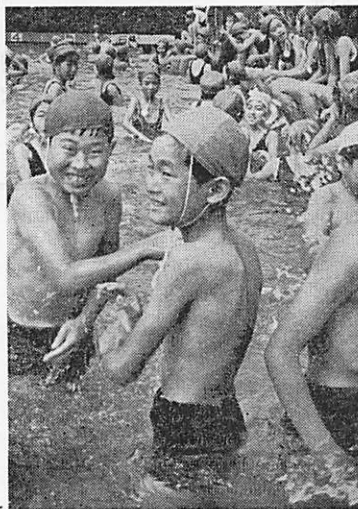
Table with columns: 地区(曜), 時間, 会場. Lists X-ray screening locations and times across various districts like 佐山, 嘉川, 陶地, 名田島.

おしらせ

うれしい夏休み

元気でゆこう

七月二十日は終業式。二十一日からは、うれしい夏休みです。健康的で楽しい夏休みにしたいものです。



黒くなったろ。イヤ、ぼくの方が黒いぞ。

●標語・懸賞文を募集
●「物価行政への注文」のテーマで国民生活センターが募集するもの。八月三十一日締め切り。

●期間 七月二十三日から十日
●場所 湯田小プール。
●募集人員 百人
●参加資格 市内の小学校児童で泳げないもの。

山口青山会から、アペリヤやユッカランなど千百本の寄贈を受け、市内の幼稚園や、中学校に配布しました。

中小企業主のみなさんへ

中小企業退職金制度へ加入を

市では、中小企業従業員のかたの福祉の向上を願い、「中小企業退職金助成要綱」をつくり、いま、事業主のかたに加入のお願いに回っております。

この掛金は400円から4,000円まで16種類あって、掛金は全額事業主の負担となりますが、一年間は掛金の半額を補助しますし、掛金の免税や福祉厚生施設資金の融資などの優遇処置がとられます。

●設備近代化資金貸し付け 第3次の募集をしています。受け付けは8月1日から31日まで県庁商工労働部中小企業課で、無利子で10万円以上500万円以下(特に必要な場合は600万円まで)

●設備を貸与 従業員20人以下の企業へ20万円から800万円の設備を貸与。第2次募集で7月末まで市商工課で受け付け。

●試作研究等へ奨励金 新製品の研究試作、改善等へ1件につき10万円。7月末までに県庁中小企業課へ。

●山口混声合唱団会員募集 練習は毎週水曜日午後6時30分～9時、市福祉センターで。7月31日までに東山一丁目6の29(電3-2526)谷口幡平氏へ申し込みください。

●休日当番医 7月22日・坂本整形外科(2-4091)、吉松内科(2-7397) 29日・済生会山口病院(2-2430)、尼崎医院(2-1771)。

●老人ホーム福寿園改築寄付金
▷A氏(仁保)1万円(4回目、合計4万円)▷K氏(糸米一丁目)1万円(4回目、合計4万円)▷兼行恵雄氏(前町)2万円(12回目、合計24万円)

●「老人憩の家」寄付金 ▷赤川次郎氏・1万円

●かなめ会総会 8月5日、10時～15時、山口信用金庫4階講堂、会費500円(昼食代を含む)。講演会ほか

「楽しい夏休みを」
出演 市教育委員会指導
主事 林登志雄さん
放送 七月十九日(木)
午前七時十分、十一時三十分。テレビ山口放送から